

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年6月24日（水）

2 確認箇所

- ・ G5タンクエリア
- ・ G5タンクエリアフランジ型タンク解体片屋外一時保管予定地（H5タンクエリアとH6タンクエリアの間）

3 確認項目

G5タンクエリアのフランジ型タンクの解体工事進捗状況

4 確認結果の概要

6月に工事開始が予定されていたG5タンクエリア（図1）のフランジ型タンクの解体工事の進捗状況を確認した。

なお、G5タンクエリアのフランジ型タンク（全17基）は、多核種除去設備処理済水を貯留していたもので、汚染の程度が低い（タンク内部の表面汚染密度や空气中放射性物質濃度が検出限界未満）ことが確認されており、他のエリアのフランジ型タンクの解体で実施しているタンク内面に付着した放射性物質の飛散を抑制するための塗装や局所排風機の稼働を省略するなど、解体に伴うダストの飛散防止対策や汚染拡大防止対策が見直されている。

また、タンク解体片については、他のタンクエリアの解体片と一緒に一時保管テントで保管することによる汚染を防止するため、屋外で一時保管する計画になっている。

- ・ G5タンクエリアの南側に工事用の重機等がアクセスするための仮設道路が造成されており、現地確認時には、搬入された歩廊の荷下ろし作業が行われていた。（写真1）
- ・ フランジ型タンク解体片の屋外一時保管予定地（図1）は、H5タンクエリア及びH6タンクエリアのリプレース工事で使用されていたプレハブ建屋等が撤去されており、カラーコーンとポールで区画され、工事用車両の駐車スペース等として利用されていた。（写真2）

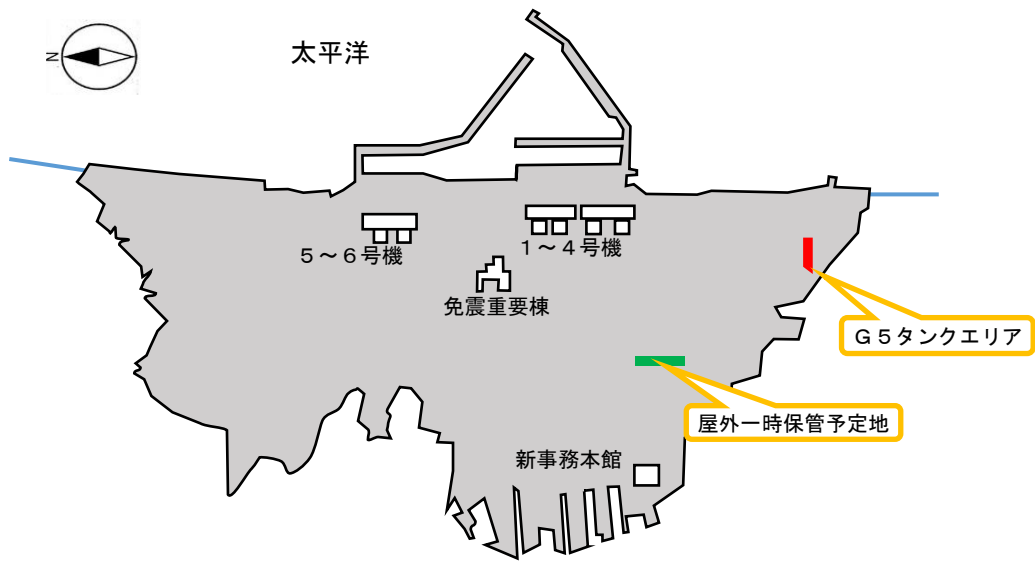


図1 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
G5タンクエリアの状況
(南西側から撮影)



(写真2)
解体片屋外一時保管予定地の状況
(H6タンクエリア北東側から撮影、写真右側がH5タンクエリア)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。